

1. 主催セミナーのお知らせ

● Security Day 2008

会 期：2008年12月16日(火)

主 催：JPCERTコーディネーションセンター(JPCERT/CC)
日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)
日本データ通信協会(Telecom-ISAC Japan)
日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)
日本電子認証協議会(JCAF)

会 場：ベルサール八重洲

● JNSA主催イベント

会 期：2008年12月17日(水)～18日(木)

会 場：ベルサール八重洲

詳細については、JNSAホームページをご覧ください。

● 第1回全国情報セキュリティ啓発シンポジウム
やろっさ「インターネット安全教室」in ふくい

会 期：2008年10月31日(金)

主 催：経済産業省

日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)

共 催：NPOナレッジふくい、福井大学

会 場：福井県国際交流会館

2. 後援・協賛イベントのお知らせ

1. SCMフォーラム2008

会 期：2008年9月9日(火)～10日(水)

主 催：社団法人日本ロジスティクスシステム協会

会 場：東京ビッグサイト 会議棟 6 階

<http://logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/scmforum/scmforum2008.html>

2. モノづくりフェア2008

会 期：2008年10月23日(木)～25日(土)

主 催：日刊工業新聞社

会 場：マリンメッセ福岡

<http://www.nikkanseibu-eve.com/mono>

3. Internet Week 2008

会 期：2008年11月25日(火)～28日(金)

主 催：社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

会 場：秋葉原コンベンションホール

<http://internetweek.jp/>

3. JNSA 部会・WG 2008 年度活動

1. 政策部会

(部会長：西本逸郎 氏/ラック)

調査事業や様々な基準・ガイドラインの策定、他団体との連携などを行う。

成果物目的のワーキンググループ

【セキュリティ被害調査WG】

(リーダー：大谷尚通 氏/NTTデータ)

2008年 1年間に発生した情報漏えいによる情報セキュリティ被害の実態を調査し、情報漏洩インシデントの傾向、対策状況、組織に与えるインパクト等を定量的に分析し、報告書として公開する。また、情報漏洩以外の情報セキュリティインシデントについて、算定モデルを検討し、同じく組織に与えるインパクト等の定量化を目指す。

予定成果物は

「2006年度 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書(英訳版)」

「2007年度 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書(速報版、本編、英訳版)」

「2007年度 情報セキュリティインシデントに関する調査データCD-ROM」

「2008年度 情報セキュリティインシデントに関する調査速報」

【セキュリティ市場調査WG】

(リーダー：勝見 勉 氏/JNSA研究員)

情報セキュリティに関する市場の状況ならびに規模等を調査・分析し、WG参加者、JNSA、業界、行政の参考に供する。併せて参加者の勉強・研鑽の場として活用してもらい、業界知識の拡大、人脈の展開、調査分析スキルの向上に資する。

2007年度と同様の調査が実施されるなら、継続受注を目指して、調査を継続する。

【内部統制におけるアイデンティティ管理WG】

(リーダー：宮川晃一 氏/グローバルセキュリティエキスパート)

2008年度は、企業におけるアクセス権付与に関する考え方と、アイデンティティの企業間連携を成果物テーマとして、第2版の発行を目的とする。また、インターネットにおけるアイデンティティ(OpenID, Liberty, SAMLなど)を勉強テーマとして活動する。

予定成果物は、内部統制におけるアイデンティティマネジメント解説書とセミナーの実施。

【情報セキュリティランキングWG】

(リーダー：佐野智己 氏/凸版印刷)

情報開示の充実度や取り組み姿勢、社会貢献活動などにも着目した、JNSA版情報セキュリティランキングを定期的に公表する。上位ランキング企業がどのような取り組みをしているかを把握するとともに、真摯に取り組む企業を讃える仕組みとして定着を目指す。

予定成果物は、ランキング結果。

【情報セキュリティ関連パブリックコメントWG】

(リーダー：河野省二 氏/ディアイティ)

毎年、各省庁から情報セキュリティ関連の政策が数多く提出されており、これらの多くにパブリックコメントが求められている。

これらの政策についてよく理解するための勉強会を開催し専門家としての知識を得ること、そして専門家としての意見を政策に反映するためのパブリックコメントを提出することを目的として活動する。

2. 技術部会

(部会長：二木真明氏/住商情報システム)

ネットワークセキュリティに関する調査・研究や、実証実験などを行なう。その他、予算を得た活動は、プロジェクトとして活動を進める。

成果物目的のワーキンググループ

【ハニーポットWG】

(リーダー：園田道夫 氏/JNSA研究員)

ネットを飛び交うマルウェアの実態を、ハニーポットやおとりサーバー、おとりのアカウントなどを用いて研究・解析する。

予定成果物は、マルウェア捕獲報告書。

【セキュアプログラミングWG】

(リーダー：伏見論 氏/情報数理研究所)

セキュアプログラミングの技術的課題の収集、および、アプリケーションセキュリティの国際規格の内容の検討とコメント作成を行う。

予定成果物は情報規格調査会に対するインプットコメント。

【セキュアOS普及促進WG】

(リーダー：澤田栄浩 氏/JTS)

セキュアOSの有効性をアピールするために活動内容をWebに公表し、公表している情報を見てもらえるように各種雑誌にアピールしていく。また、インシデントとセ

キュアOSの関係を紐解いていく。

勉強会目的のワーキンググループ

【PKI相互運用技術WG】

(リーダー：松本泰 氏/セコム)

PKI相互運用技術の情報共有を行う。年間の活動としては、IETFの参加、PKI dayなどのセミナー開催など。予定成果物は、「暗号アルゴリズムの移行問題」について、何らかの報告書をまとめる可能性がある。

プロジェクト

【Challenge PKI】

(リーダー：松本泰 氏/セコム)

2008年度は、Multi-domain-PKIのRFC化の見通しが立っており、このRFC化を足掛かりとして、「暗号アルゴリズム移行問題」、「電子署名法に関連した相互運用技術の課題」など、幅広い問題の解決に取り組むことを検討している。

3. マーケティング部会

(部会長：古川勝也 氏/マイクロソフト)

JNSA自身の認知度向上と、ネットワークセキュリティに関する普及・啓発活動を行う。

【会員製品 PR 企画検討WG】

(リーダー：小屋晋吾 氏/トレンドマイクロ)

IDGジャパン社に運営移管した「セキュリティ製品バイヤーズガイド」へのコンテンツ提供や製品登録への協力などについて検討を行う。

【セキュリティ啓発WG】

(リーダー：平田敬 氏/ブリッジ・メタウェア)

2007年度同様、経済産業省の委託事業である「インターネット安全教室」の企画・運営を通してセキュリティ啓発活動を行う。

4. 教育部会

(部会長：安田直 氏/サイバー大学/JNSA主席研究員)

ネットワークセキュリティ技術者の育成のために、産学協同プロジェクトを進め、大学や企業で行うべき教育のカリキュラムの検討やユーザー教育の在り方についての調査・検討などを行なう。

【CISSP行政情報セキュリティCBK-WG】

(リーダー：大河内智秀 氏/NTTコミュニケーションズ)

2008年度は、CISSPに関する知名度向上に関する取り組みを行う。

【セキュリティリテラシーベンチマーク作成WG】

(リーダー：大溝裕則氏/JMCリスクソリューションズ)

2008年2月に公開した組織管理者向け機能を追加した「情報セキュリティ理解度チェックサイト」のビジネスモデル案の検討を行うとともに、サイト全体の自主運営に向けた検討を行う。

【SecBok(セキュリティ知識分野作成) WG】

(リーダー：長谷川長一 氏/ラック)

引き続き、セキュリティ知識の策定と活用に関わる検討を行う。また、活動の目的や内容がほとんど重複する情報セキュリティ教育事業者連絡会(ISEPA)との棲み分けを検討し、今年度以降の役割分担と連携関係を明確にする。予定成果物は、「セキュリティ知識分野2008年度版(仮)」、「セキュリティ知識分野活用ガイド(仮)」

【セキュリティ講師スキル研究WG】

(リーダー：長谷川長一 氏/ラック)

引き続き、セキュリティ講師に必要なスキルの調査研究および実証を行う。(情報セキュリティ教育事業者連絡会:ISEPAとの連携による活動も行う)

策定した「セキュリティ講師スキル(案)」をもとに更なる調査や実証実験を実施する。予定成果物は、「セキュリティ講師スキル研究調査報告書」

【情報セキュリティ教科書執筆WG】

(リーダー：塩見友規 氏/オー・エイ・エス)

情報セキュリティのプロフェッショナルを目指そうというIT技術者向けの「教科書」を執筆することを目的とする。スキルマップなどの項目分類の更新情報等を参考にし、専門家としての初学者に知ってもらいたい内容をできるだけ網羅する。予定成果物は、情報セキュリティのプロフェッショナル向け教科書(書名未定)の出版。

【教育アーカイブズ検討WG(仮称)】

(リーダー：河野省二 氏/ディアイティ)

JNSAメンバー始め非メンバーも、セミナーや研修用に色々なスライド等を持ち、大抵の場合再利用されずに埋もれている状態である。著作者本人が公開すれば権利関係の問題は無く、質の高い教育用資料を社会的に共有することができる。

教育用資料等の有効活用、歴史的なアーカイブを保管・検索できる「場」を作るということは意義があるだろうと

いうことから、具体的なアーカイブを作るための検討と試行をする予定である。

予定成果物は、試行用データの収集とデータベース化の試行報告書。

【岡山理科大学遠隔授業実施WG(仮称)】

(リーダー：未定)

今まで、情報セキュリティの教育者のスキルについて検討を行い、2006年度に「情報セキュリティ教育の指導者向け手引書」を公開した。これらの成果を実践に生かす形で、岡山理科大学で集中講義という形で遠隔授業を行ってみた。

2009年度からは2単位(15駒)の正式単位認定講義となるのに伴い、カリキュラムやシラバス、講義内容、講義形式等々の検討を行うため、WGとして活動することにした。

講師候補の方々を始め、実際の大学での遠隔授業に一家言ある方の参加も可能である。

予定成果物は、講義のシラバス、講義資料、定期試験、等々のコンテンツ類と報告書。

5. U40部会

(部会長：加藤雅彦 氏/アイアイジェイテクノロジー)

若年層を対象メンバーとして、技術習得向上のための研鑽の場、人脈作りの場を提供する。また、JNSA運営への積極的な関与、会員間の交流の強化、活動活性化のための情報流通強化、セキュリティ業界や社会への貢献などを目的とする。

【JNSAラボネットWG】

(リーダー：坂本 慶 氏/ディアイティ)

ワーキンググループの活動における、実環境を使った技術検証などが円滑に行えるように、検証環境の設計と構築を議論し、実際の環境構築を行う。またU40部会のWGとして、本活動を通して若手メンバーのスキル向上を図る。予定成果物は、検証環境の提供。

【勉強会企画検討WG】

(リーダー：嘉津義明 氏/シマンテック)

若年層の知識および技術向上のため、メンバー向けの勉強会を企画検討し、講師手配などを行なう。これにより外部との人脈作りおよび運営面についてのスキルアップも図る。また、良い企画があれば、JNSA会員向けのセミナーとして推薦する。

6. ユーザー部会 ※新設

(部会長：未定)

JNSA参加企業は、ISMSやPマークを取得し、かつ情報セキュリティベンダーとして、セキュリティビジネスを行っている。しかしながら、自社の企業内ユーザー(例えば、営業、エンジニア、管理系部署)の情報セキュリティモラルが上がっていないことも事実である。

このため、今年度は、成功失敗の事例紹介、テーマ毎の研究会を行い、効果的な企業内ユーザーのモラル醸成方法、効率的な情報セキュリティ運用方法を模索していくような活動を行う予定である。

7. 西日本支部

(支部長：井上陽一 氏/JNSA顧問)

JNSA西日本支部は関西に拠点を置くメンバー企業の協賛の下、西日本におけるネットワーク社会のセキュリティレベルの維持・向上並びに、日々高まる情報セキュリティへのニーズに応えるべく、先進性を追及すると共に、質の高いサービスを提供する事を目的として活動する。今年度も引き続き関西方面でのセキュリティ啓発セミナーを中心に活動を行う。

【企画運営WG】

(リーダー：井上陽一 氏/JNSA顧問)

中小企業の情報セキュリティ水準の底上げ、中小企業の負担軽減に繋がる方策について、情報セキュリティチェックシートWGと共同して明示・PDCA定着化のための啓発を行うと共に、近畿経済産業局と協働して地域における産官共同の基盤づくりを行う。予定成果物として、情報セキュリティチェックシートWGと共同して、チェックシート作成・解析結果を報告書としてまとめる。

【情報セキュリティチェックシートWG】

(リーダー：嶋倉文裕 氏/富士通関西中部ネットテック)

情報セキュリティチェックシートを使用することにより、中堅・中小企業の経営者(経営層)が気付きを超えた企業価値向上の視点で、自社のセキュリティ対策の現状を認識し、対応して頂く上でのガイダンスとなるような情報セキュリティチェックシートの作成を目標として活動する。

予定成果物は、チェックシートおよびアンケート解析結果報告。

情報セキュリティ教育事業者連絡会(ISEPA)

(代表：与儀大輔 氏/ラック)

連絡会各会員団体の運営する資格の位置付け、キャリアパスに対する共通認識の提示、施策提案、さらには各種教育機関との連携によるコンテンツの共同利用など、情報セキュリティ人材育成に関する様々な情報を社会に広く提供し、人材育成の拡大に向けた様々な取り組みを推進する活動を行う。

【イベントWG】

(リーダー：杉本毅氏/ITプロフェッショナル・グループ)

ホームページ、各種イベント、あるいは各種の広報活動により、ISEPA情報セキュリティ教育事業者連絡会の活動や取り組みを、社会に広く紹介していく。

【スキルWG】

(リーダー：衣川俊章氏/ITプロフェッショナル・グループ)

各団体の資格試験の内容を体系的に整理し、各資格試験の相関図の作成やキャリアパスを提示し、情報セキュリティの分野で求められる人材像を具体的に示していく。

【相互認証WG】

(リーダー：関取嘉浩氏/NRIセキュアテクノロジーズ)

各事業者間の相互認証の可能性の検討を行なう。また、必要に応じてWGを開催し、相互認証の可能性について検討していく。認定資格取得者数の調査も行う予定。

日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)

(代表：武智洋 氏/ラック)

セキュリティオペレーション技術向上、オペレータ人材育成、および関係する組織・団体間の連携を推進する事業を実施することにより、セキュリティオペレーションサービスの普及とサービスレベルの向上を促し、安全で安心して利用できるIT環境実現に向けて寄与する目的として発足。JNSA下部組織として、ガイドラインの策定や技術向上に向けた検討、普及啓発活動を行う。

4. JNSA 役員一覧 2008 年 6 月 13 日現在

会 長 佐々木 良一
東京電機大学 教授
副会長 高橋 正和
マイクロソフト株式会社
副会長 大和 敏彦
ブロードバンドタワー株式会社

理 事 (50 音順)

足立 修 株式会社シマンテック
池田 修一 NTT コミュニケーションズ株式会社
後沢 忍 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
遠藤 直樹 東芝ソリューション株式会社
大坪 武憲 新日鉄ソリューションズ株式会社
勝見 勉 リコー・ヒューマン・クリエイツ株式会社
川上 博康 セコムトラストシステムズ株式会社
後藤 和彦 株式会社大塚商会
小屋 晋吾 トレンドマイクロ株式会社
佐藤 邦光 大日本印刷株式会社
下村 正洋 株式会社ディアイティ
立石 和義 NTT アドバンステクノロジー株式会社
橘 伸俊 株式会社ネットマークス
玉井 節朗 株式会社 I D G ジャパン
西尾 秀一 株式会社 N T T データ
西本 逸郎 株式会社ラック
野々下幸治 マカフィー株式会社
森田 次朗 株式会社フォーパルクリエーティブ
日暮 則武 東京海上日動火災保険株式会社
山野 修 R S A セキュリティ株式会社
吉原 勉 株式会社アイアイジェイテクノロジー

監 事

土井 充 公認会計士 土井充事務所

特別顧問

石田 晴久 サイバー大学 IT 総合学部 学部長

顧 問

井上 陽一
今井 秀樹 中央大学 教授
北沢 義博 霞が関法律会計事務所 弁護士
武藤 佳恭 慶応義塾大学 教授
前川 徹 サイバー大学 教授
村岡 洋一 早稲田大学 教授
安田 浩 東京電機大学 教授
山口 英 奈良先端科学技術大学院大学 教授
吉田 眞 東京大学 教授

事務局長

下村 正洋 株式会社ディアイティ

5. 会員企業一覧 (2008年7月28日現在 203社 50音順)

【あ】

(株)アーケン
RSAセキュリティ(株)
(株)アイアイジェイ テクノロジー
アイエックス・ナレッジ(株)
(株)ITプロフェッショナル・グループ
(株)アイ・ティ・フロンティア
(株)IDGジャパン
(株)アイティーブレン **New**
(株)アイテク **New**
アイネット・システムズ(株)
(株)アイ・ビー・イー・ネット・タイム
(株)IPイノベーションズ
アイマトリックス(株)
(株)アクシオ
あずさ監査法人
(株)網屋
(株)アルテミス
(株)アルファシステムズ **New**
アルプスシステムインテグレーション(株)
(株)ISAO
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
学校法人 岩崎学園
(株)インストラクション
(株)インターネットイニシアティブ **New**
(株)インテックシステム研究所
(株)インテリジェントウェイブ
インフォコム(株)
(株)インフォセック
Impreva JAPAN
ヴァイタル・インフォメーション(株)
ウェブセンス・ジャパン(株)
ウェブルート・ソフトウェア(株)
AT&Tジャパン(株)
(株)エス・エス・アイ・ジェイ
SSHコミュニケーションズ・セキュリティ(株)
(株)エス・シー・ラボ
NRIセキュアテクノロジーズ(株)
エヌアイシー・ネットシステム(株)
NECソフト(株)
NECネクサソリューションズ(株)

NTTアドバンステクノロジー(株)
NTTコミュニケーションズ(株)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)
エヌ・ティ・ティ・コムチェオ(株)
NTTコムテクノロジー(株) **New**
(株)NTTデータ
(株)NTTデータCCS
(株)エネルギー・コミュニケーションズ
F5ネットワークスジャパン(株)
エムオーテックス(株)
オー・エイ・エス(株)
(株)オーク電子
(株)大塚商会
(株)オレンジソフト

【か】

(株)Kaspersky Labs Japan
兼松エレクトロニクス(株)
(株)ガルフネット
関電システムソリューションズ(株)
キヤノンITソリューションズ(株)
キヤノンマーケティングジャパン(株)
九電ビジネスソリューションズ(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
クオリティ(株)
(株)グローバルエース
グローバルサイン(株)
グローバルセキュリティエキスパート(株)
(株)ケーケーシー情報システム
(株)コネクタス
コンピュータエンジニアリングサービス(株)

【さ】

サードネットワークス(株)
サイバーエリアリサーチ(株)
サイバーソリューション(株)
(株)サイロック
サン・マイクロシステムズ(株)
(株)シー・エス・イー
(株)シーフォーテクノロジー
(株)JMCリスクソリューションズ

ジェイズ・コミュニケーション(株)
 (株)JTS
 JPCERTコーディネーションセンター
 シスコシステムズ合同会社
 システム・エンジニアリング・ハウス(株) **New**
 (株)シマンテック
 (株)ジャパンネット銀行
 寿限無(株)
 (株)情報数理研究所
 新日鉄ソリューションズ(株)
 新日本監査法人
 Sky(株)
 (株)ステラクラフト
 住商情報システム(株)
 住生コンピューターサービス(株)
 セキュアコンピューティングジャパン(株)
 (株)セキュアブレイン
 セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン
 セコム(株)
 セコムトラストシステムズ(株)
 (株)セラク
 セントラル短資オンライントレード(株) **New**
 ソニー(株)
 ソフォス(株)
 ソフトバンク(株)
 ソフトバンクBB(株)
 ソラン(株)
 (株)ソリトンシステムズ
 (株)損保ジャパン・リスクマネジメント

【た】

大興電子通信(株)
 大日本印刷(株)
 (株)大和総研
 (株)タクマ
 チェックポイントソフトウェアテクノロジーズ(株)
 TIS(株)
 (株)ディアイティ
 デジタルアーツ(株)
 (株)電通国際情報サービス
 監査法人トーマツ
 東京エレクトロン デバイス(株)
 東京海上日動火災保険(株)
 東京日産コンピュータシステム(株)

東芝ITサービス(株)
 東芝ソリューション(株)
 ドコモ・システムズ(株)
 凸版印刷(株)
 トップレイヤーネットワークスジャパン(株)
 トリップワイヤ・ジャパン(株)
 トレンドマイクロ(株)

【な】

(株)ニコンシステム
 西日本電信電話(株)
 日信電子サービス(株)
 日本アイ・ピー・エム(株)
 日本アイ・ピー・エム システムズエンジニアリング(株)
 日本SGI(株)
 日本オラクル(株)
 日本クロストラスト(株)
 日本CA(株)
 (株)日本システムディベロップメント
 日本セーフネット(株)
 日本電気(株)
 日本電信電話(株)
 日本ビジネスコンピューター(株)
 日本ビューレット・パッカード(株)
 ネットエスアイ東洋(株)
 (株)ネットマークス
 ネットワンシステムズ(株)
 (株)野村総合研究所

【は】

(株)ハイエレコン
 パスロジ(株)
 バリオセキュア・ネットワークス(株)
 (株)ハンモック
 (株)日立システムアンドサービス
 (株)日立情報システムズ
 (株)日立製作所
 日立ソフトウェアエンジニアリング(株)
 (株)PFU
 (株)フォーバル クリエーティブ
 富士ゼロックス(株)
 富士ゼロックス情報システム(株)
 富士通(株)
 富士通エフ・アイ・ピー(株)

(株)富士通エフサス
富士通関西中部ネットテック(株)
(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(富士通SSL)
(株)富士通ビジネスシステム
富士電機アドバンステクノロジー(株)
扶桑電通(株)
フューチャーアーキテクト(株)
(株)フューチャーイン
(株)ブリッジ・メタウェア
(株)ブロードバンドセキュリティ
(株)ブロードバンドタワー
(株)プロティビティジャパン

【ま】

(株)マイクロ総合研究所
マイクロソフト(株)
マカフィー(株)
松下電工(株)
みずほ情報総研(株)
三井物産セキュアディレクション(株)
(株)三菱総合研究所
三菱総研DCS(株)
三菱電機(株)情報技術総合研究所
三菱電機情報ネットワーク(株)
(株)メトロ

【や】

ユーテン・ネットワークス(株)
(株)ユービーセキュア

【ら】

(株)ラック
LANDesk Software(株)
リコー・ヒューマン・クリエイツ(株)
(有)ロボック

【わ】

(株)ワイ・イー・シー
(株)ワイズ

【特別会員】

特定非営利活動法人 アイタック
韓国電子通信研究院
社団法人 コンピュータソフトウェア協会
ジャパン データ ストレージ フォーラム
財団法人 ソフトピアジャパン
データベース・セキュリティ・コンソーシアム
特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会
電子商取引安全技術研究組合
東京大学大学院 工学系研究科
社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会
有限責任中間法人 日本電子認証協議会

6. JNSA 年間活動 (2008 年度)

4 月			
	4 月 23 ~ 24 日	「RSA Conference Japan 2008」後援	
5 月	5 月 1 日	第 1 回幹事会	
	5 月 14 日	2008 年度理事会 (虎ノ門パストラル)	
	5 月 26 ~ 27 日	「CeCOS II Tokyo(Counter eCrime Operation Summit II in Tokyo)」後援	
6 月	6 月 5 ~ 7 日	「第 12 回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム」後援	
	6 月 9 ~ 13 日	「Interop Tokyo 2008」後援	
	6 月 13 日	2007 年度 WG 活動報告会 (ベルサール八重洲)	
	6 月 13 日	2008 年度総会 (ベルサール神田)	
	6 月 18 日	「平成 20 年度情報モラル啓発セミナー」(兵庫会場)後援	
7 月	7 月 1 ~ 2 日	「SANS Future Visions 2008 Tokyo」後援	
	7 月 3 日	「PKI Day 2008」セミナー (東京ウィメンズプラザ)	
	7 月 4 ~ 5 日	「WASForum Conference2008」後援	2008 年 6 月~
	7 月 8 日	第 2 回幹事会	2009 年 3 月
	7 月 9 日	「2008 年度 情報セキュリティ監査シンポジウム in Tokyo」後援	「インターネット
	7 月 10 ~ 12 日	「沖縄 ICT フォーラム 2008」後援	安全教室」開催
	7 月 16 ~ 18 日	「自治体総合フェア 2008」協賛	
	7 月 17 日	「平成 20 年度情報モラル啓発セミナー」(三重会場)後援	
	7 月 22 ~ 24 日	「ワイヤレスジャパン 2008」後援	
	7 月 24 日	リコー情報セキュリティ強化セミナー「今、再び考える『情報セキュリティ』」後援	
8 月	8 月 13 ~ 17 日	「セキュリティ&プログラミング・キャンプ 2008」後援	
	8 月 22 日	「被害調査 WG・リテラジーベンチマーク作成 WG 合同セキュリティ対策セミナー」(メルパルク東京)	
	8 月 25 日	「2008 年度 全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(札幌会場)後援	
	8 月 26 日	第 3 回幹事会・臨時理事会	
	8 月 29 日	「CompTIA Breakaway in Japan」後援	
9 月	9 月 26 日	「平成 20 年度情報モラル啓発セミナー」(北海道会場)後援	
	9 月 26 日	「2008 年度 全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(高松会場)後援	
	9 月 9 ~ 10 日	「SCM フォーラム 2008」協賛	
10 月	10 月 2 日	「2008 年度 全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(仙台会場)後援	
	10 月 21 日	「2008 年度 全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(福岡会場)後援	
	10 月 23 ~ 25 日	「モノづくりフェア 2008」協賛	
	10 月 31 日	「第 1 回全国情報セキュリティ啓発シンポジウム やろっさ『インターネット安全教室』in ふくい」	
11 月	11 月 11 日	「2008 年度 全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(大阪会場)後援	
	11 月 25 ~ 28 日	「Internet Week 2008」後援	
12 月	12 月 16 日	「Security Day 2008」セミナー (ベルサール八重洲)	
	12 月 17 ~ 18 日	「JNSA 主催イベント (予定)」(ベルサール八重洲)	
	12 月 19 日	「2008 年度 全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(名古屋会場)後援	
1 月	1 月 23 日	「2008 年度 全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(広島会場)後援	
2 月	2 月 13 日	「2008 年度 全国縦断情報セキュリティ監査セミナー」(富山会場)後援	
3 月			

★ JNSA 活動スケジュールは、<http://www.jnsa.org/aboutus/schedule.html> に掲載しています。

★ JNSA 部会、WG の会合議事録は会員情報のページ <http://www.jnsa.org/member/index.html> に掲載しています。(JNSA 会員限定です)

7. JNSA について

■ 会員の特典

1. 各種部会、ワーキンググループ・勉強会への参加
2. セキュリティセミナーへの会員料金での参加および
主催カンファレンスへの招待
3. 発行書籍・冊子の配布
4. JNSA 会報の配布（年 3 回予定）
5. メーリングリスト及び Web での情報提供
6. 活動成果の配布
7. イベント出展の際のパンフレット配付
8. 人的ネットワーク拡大の機会提供
9. 調査研究プロジェクトへの参画

8. お問い合わせ

特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会 事務局

E-Mail: sec@jnsa.org

URL: <http://www.jnsa.org/>

西日本支部

〒 532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-14-10

カトキチ新大阪ビル（株）ディアイティ内

TEL: 06-6886-5540

入会方法

Web の入会申込フォームにて Web からお申し込み、または、書面の入会申込書を FAX・郵送にてお送り下さい。折り返し事務局より入会に関する御連絡をいたします。

■ JNSA 事務局移転のお知らせ ■

JNSA 事務局は、本年 9 月に下記住所に移転することとなりました。

新住所〔 9 月 8 日（月）業務開始予定 〕

〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-22-12 JC ビル 3F

Tel: 03-3519-6440 Fax: 03-3519-6441

JNSA Press vol.23

2008 年 8 月 25 日発行

©2008 Japan Network Security Association

発行所

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

E-Mail: sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

印刷

プリンテックス株式会社



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
Japan Network Security Association

E-mail: sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

西日本支部

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10 カトキチ新大阪ビル (株) デイアイティ内
TEL 06-6686-5540